

基本目標1

〔区民一人ひとりが 参加する地域づくり〕

より多くの区民が、自助・互助の活動に取り組めるように、様々な形で情報発信していきます。

また、地域活動の新たな担い手の育成、住民主体で行われている地域活動への支援を通して、活動を活性化し、支えていきます。



3年後を見据えてめざす多摩区の姿

- ・必要かつ正確な情報を、一人ひとりに合った方法で提供し、幅広く区民が地域活動に参加している
- ・地域が求める人材の情報を分かりやすく発信し、新たな担い手が地域活動に参加している

基本目標1
こう進める!

基本目標1【区民一人ひとりが参加する地域づくり】を進める3つの基本方針

重点項目

1

理解と共感を広げる情報発信と場の創出

地域のつながりや支え合いの大切さへの理解・共感を広げ、区民が安心して生活していくために必要な情報を適切に得られるよう、各種媒体を活用した情報発信やイベント等の場を創出していきます。

2

地域活動の担い手育成

区民による地域活動がより活発に行われるように、地域で活動する担い手育成を推進します。

3

地域活動への支援

新たに地域活動を始める方や、既に活動している方・団体へ情報提供等を行い、地域活動を支援します。

重点項目

基本方針 1-1

【理解と共感を広げる情報発信と場の創出】

第6回川崎市地域福祉実態調査では、「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」と48.2%の方が回答しています。



福祉サービスなど地域包括ケアシステムに関する情報を子育て世帯や高齢者、障がい者、生活困窮者など支援を必要としている人へ提供します。

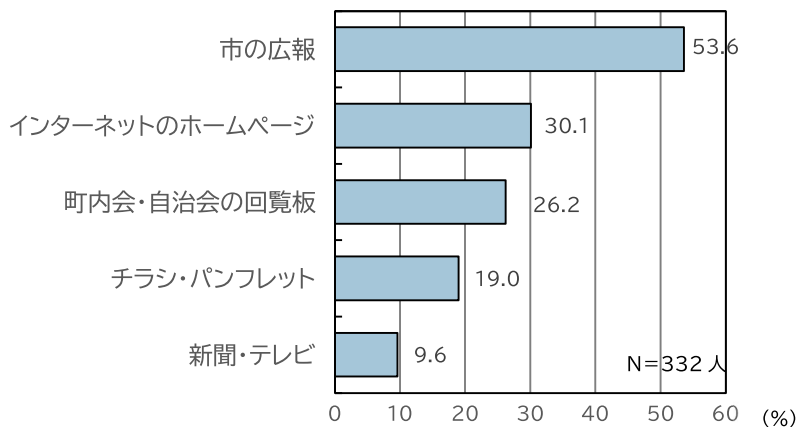
また、福祉サービス等の情報提供の充実と併せて、地域活動に関心を持ち、区民同士が支え合う地域づくりについて考える機会や活動への参加を促進します。



データから見るポイント

DATA 1-1 保健や福祉の情報は市の広報から収集している

保健や福祉の情報をどこから得ているか（複数回答・上位5項目）



保健や福祉の情報を得るのは、「市の広報」が 53.6%と圧倒的に多い状況ですが、「インターネットのホームページ」の割合も同調査実施回を追うごとに増えています。

資料:第6回川崎市地域福祉実態調査

【子ども・子育て】

●子ども・子育てに関する情報提供



地域の子ども・子育てに関する情報などを提供しています。

●子ども・子育てに関する講座の開催



専門職による子どもの成長や、子育てに関する講座を開催しています。

事業・取組

- 子ども・子育てに関する情報提供
 - ・多摩区地域子育て情報 BOOK
 - ・多摩区こども相談窓口
 - ・多摩区子育て応援冊子(たまっ子ノート)
 - ・保育所等の入所希望者に向けた説明動画の公開
- 子ども・子育てに関する講座の開催
 - ・両親学級、マタニティ食育教室
 - ・家庭・地域教育学級
 - ・ぷよぷよ(多胎児と親の会)
 - ・ちゅーりっぷセミナー(子育てセミナー)
 - ・こうのとりの会(高齢妊産婦の会)

事業・取組の詳細は、P87に掲載しています

【高齢者・障がい者】

●パサージュ・たま



障がい者団体等による活動紹介や作品の展示販売等を行っています。

●多摩ふれあいまつり



障がいのある当事者、団体、市民が参加する「共に生きる地域づくり」をめざすイベントを開催しています。

事業・取組

- パサージュ・たま
- 地域における精神保健福祉の普及啓発
- 多摩ふれあいまつり

事業・取組の詳細は、P87に掲載しています

【地域・防災・暮らし】

●多摩区地域包括ケアシステムの普及啓発・地域情報の発信



地域包括ケアシステムの理解促進を目的とした広報誌等を発行します。

●防災対策啓発事業



防災に対する理解と関心を深め、防災意識の高揚と地域の防災力向上を図ることを目的にぼうさい出前講座を開催します。

事業・取組

- 多摩区地域包括ケアシステムの普及啓発・地域情報の発信
- 健康づくりのための情報発信、講座
- 認知症についての正しい理解の普及啓発
- 快適で暮らしやすい生活環境づくりのための情報発信
- 防災対策啓発事業
- 町内会・自治会加入促進への取組
- 多摩区タウンプロモーション推進事業

事業・取組の詳細は、P88に掲載しています



【ミニミニコラム】

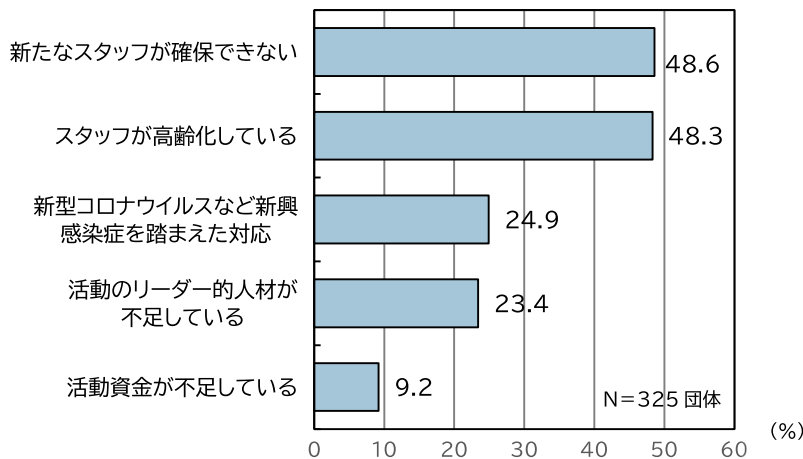
令和5年8月に「多摩区公園BOOK」を発行しました。区内の主な公園139カ所を紹介しています！



データから見るポイント

DATA 1-2 地域福祉活動を行う中で困っていることはスタッフの確保

地域福祉活動を行う中で、いま困っていることは何か（複数回答・上位5項目）



地域福祉活動を行う中で、いま困っていることは、「新たなスタッフが確保できない」が48.6%、「スタッフが高齢化している」が48.3%で多くなっています。

資料:第6回川崎市地域福祉実態調査

【子ども・子育て】

●多摩区子育て支援者養成講座



子どもの成長や子育てについての基礎知識や地域の子育て支援活動の情報提供、実習等を通して、子育て支援を担う人材の育成を図ります。

●スキルアップ講座



地域で子育て支援に関わっている方を対象として、支援者同士の連携を図るとともに、技術の習得や向上を目指し、支援の場に活かします。

事業・取組

- 多摩区子育て支援者養成講座
- スキルアップ講座
- 中高生職場体験
- PTA活動研修

事業・取組の詳細は、P89に掲載しています

多摩区社会福祉協議会が取り組んでいる福祉教育

【福祉教育とは】

私たちの地域で、皆が幸せに暮らしていくためには、何をしたらよいのか。普段の暮らしの中の生活課題を解決していくためには、どのようにすればよいのか。

生活課題から福祉課題に気づき、そのことを様々な人と共に考え、実際に行動するための力を育むことが「福祉教育」です。福祉教育は、一人ではなく皆で話し合いながら実践していくことで、人と人との関わりについて考えるきっかけとなります。

稲田小学校での車いすバスケット体験



東菅小学校での盲導犬特別授業



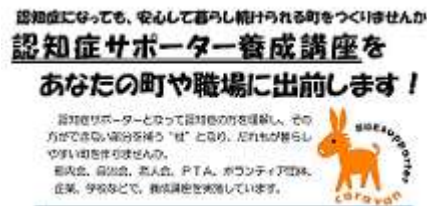
【地域・防災・暮らし】

●健康づくりを担う人材の育成



食生活・健康づくり等のボランティア養成講座を開催します。

●認知症サポーター養成講座



認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で暮らす認知症の方やその家族を応援・手助けする認知症サポーター養成講座を開催します。

事業・取組

- 健康づくりを担う人材の育成
- 認知症サポーター養成講座
- 地域防災力強化に向けた取組
- 多摩区観光ボランティアガイドの養成
- 市民エンパワーメント研修

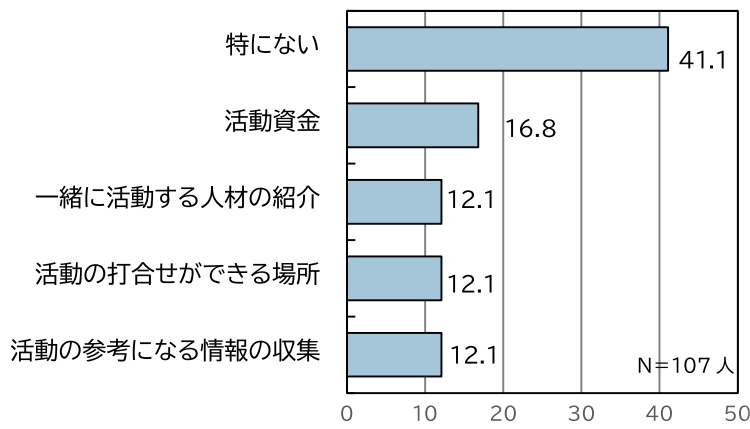
事業・取組の詳細は、P89に掲載しています



データから見るポイント

DATA 1-3 地域活動をする上で受けたいと思う支援は多岐にわたる

地域活動をする上で受けたいと思う支援（複数回答・上位5項目）



地域活動をする上で受けたいと思う支援は、「特にない」を除くと、「活動資金」「人材」「打合せ場所」「参考情報」が多くなっています。

資料:令和4年度多摩区区民意識アンケート調査

【子ども・子育て】

●多摩区こどもの外遊び交流事業



外遊びの催しや外遊び活動の担い手となる人材の育成、外遊び活動の支援等を行います。

事業・取組

- 多摩区こどもの外遊び交流事業
- PTA家庭教育学級講師派遣

事業・取組の詳細は、P90に掲載しています

【高齢者・障がい者】

●老人クラブ育成事業



地域において、介護予防のためのいきがいや健康づくり活動等の推進を担っている老人クラブの活動を支援します。

●当事者・家族会等のグループ支援



統合失調症や発達障がい等、様々な精神疾患を抱える患者の家族を対象に、家族会の協力を得て家族教室を実施します。

事業・取組

- 老人クラブ育成事業
- 当事者・家族会等のグループ支援

事業・取組の詳細は、P90に掲載しています

【地域・防災・暮らし】

●町内会・自治会活動の支援



地域社会において重要な役割を担う町内会・自治会活動の活性化を支援します。

●民生委員児童委員の活動支援



民生委員児童委員と区役所の情報の共有や、市民に向けた活動の広報、活動に関連した研修会の実施等、民生委員児童委員活動の支援を行います。

事業・取組

- 民生委員児童委員の活動支援
- 地域のサロン等への支援
- 多摩区食生活改善推進員連絡協議会の支援
- 健康づくりと地域参加
- 自主防災組織への運営支援
- 多摩区コミュニティ施策区域レベル取組推進事業
- 市民活動支援事業
- 町内会・自治会活動の支援
- 市民自主学級・市民自主企画事業
- 公園・街路樹等の愛護活動支援

事業・取組の詳細は、P90・91に掲載しています



基本目標2

〔多世代交流で つながる地域づくり〕

同じ地域に暮らす住民同士が、年齢や背景の違いを超えて交流ができるよう、身近な地域でのつながりづくりを進めていきます。

また、交流を通じて、住民同士が支え合い自分らしく活躍できる地域づくりをめざします。



3年後を見据えてめざす多摩区の姿

- ・世代や背景の異なる住民同士が交流する機会が増えている
- ・住民同士が地域の中で出会い、あいさつし合えるゆるやかなつながりづくりができている

基本目標2
こう進める!

基本目標2【多世代交流でつながる地域づくり】を 進める2つの基本方針

1

誰もが気軽に参加できる活動・交流の機会づくり

住民同士が地域の中で出会い、あいさつし合えるようなゆるやかなつながりづくりをめざし、誰もが気軽に参加できる活動・交流の機会づくりの取組を推進します。

重点
項目

2

身近な地域での支え合い活動の推進

身近な地域での交流や支え合いの活動を、住民や事業者、関係機関、団体と共に推進します。

たまくの計画

重点項目

基本方針 2-2

【身近な地域での支え合い活動の推進】

第6回川崎市地域福祉実態調査では、地域福祉を推進するために市民が取り組むべきこととして、「地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること」と41.6%の方が回答しています。



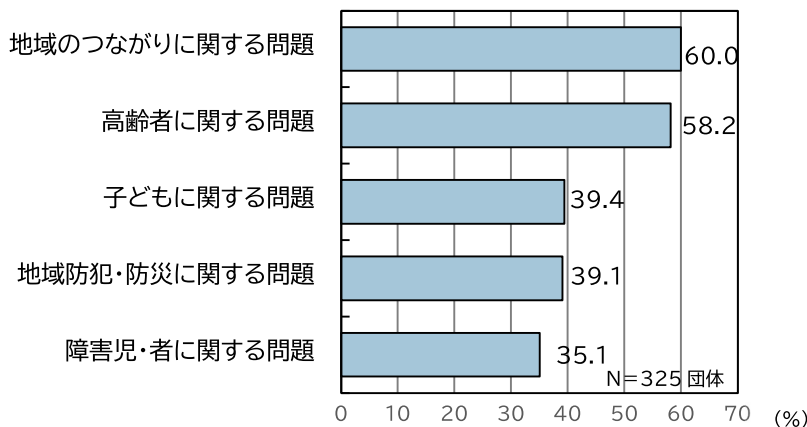
地域特性を踏まえ、住民や事業者、関係機関、団体との継続的な対話を通じ、地域課題やその解決のプロセスを共有しながら、身近な地域での交流や支え合いの活動を推進します。



データから見るポイント

DATA 2-1 地域のつながりに問題を感じている団体が多い

団体活動を行う中で、地域で問題だと感じていること（複数回答・上位5項目）



団体活動を行う中で、地域で感じている問題は、「地域のつながりに関する問題」が60.0%、「高齢者に関する問題」が58.2%と多くなっています。

資料:第6回川崎市地域福祉実態調査

【子ども・子育て】

●子育てサロン・子育てひろば



孤立化を防止するため、乳幼児期から親同士の交流を図る場をつくります。

●たまたま子育てまつり



子育て中の親子や区民を対象に、子育て力を養い、仲間探しをする場づくりを行います。

たまたま子育てまつりイメージキャラクター
まーるちゃん



事業・取組

- 多摩区子育て支援パスポート事業
- 子育てサロン・子育てひろば
- 子ども子育て推進事業
- 身体測定・遊びの広場
- 子育てひろば・外国人の子育てひろば
- たまたま子育てまつり

事業・取組の詳細は、P92に掲載しています

【高齢者・障がい者】

- 障がい者と地域住民の交流の場
「障がい者社会参加学習活動」



地域での体験活動や交流等の学習機会を提供することを通して、障がいのある人の社会参加を図り、共に生きる地域社会の実現をめざします。

事業・取組

- 障がい者と地域住民の交流の場
「障がい者社会参加学習活動」

事業・取組の詳細は、P93に掲載しています

【地域・防災・暮らし】

- 「Anker フロントタウン生田」
との連携イベント・教室
- 多摩区スポーツフェスタ



「Anker フロントタウン生田」を利用して、地域におけるスポーツを通じた健康づくりや地域づくりを促進する事業を実施します。



区民が身近にスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、スポーツ活動を通じた地域住民の交流、地域の活性化を図ります。

事業・取組

- 「Anker フロントタウン生田」との
連携イベント・教室
- 多摩区スポーツフェスタ
- 川崎市多摩スポーツセンターの
運営
- 魅力的な公園整備事業

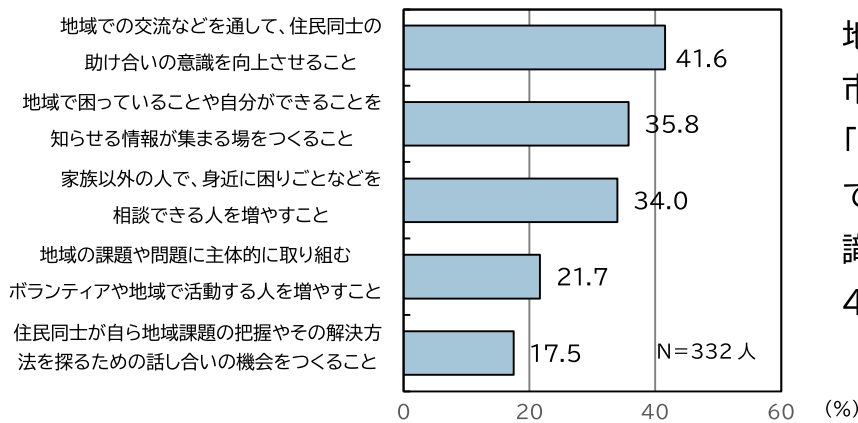
事業・取組の詳細は、P93に掲載しています



データから見るポイント

DATA 2-2 地域福祉の推進には住民同士の助け合いの意識向上が必要

地域福祉を推進するために市民が取り組むべきこと（複数回答・上位5項目）



地域福祉を推進するために市民が取り組むべきことは、「地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること」が41.6%となっています。

資料:第6回川崎市地域福祉実態調査

【地域・防災・暮らし】

●地域包括ケアシステムの推進



身近な課題への住民主体の取組を広めていくため、課題解決のプロセスを住民と共有し、地域特性に応じた「多世代で支え合う」地域づくりを進めます。

●生田地区コミュニティ推進事業



生田地区のコミュニティ活動を活性化するために、生田地区の実情に応じた拠点活用を行います。



生田地区町会連合会キャラクター
仮面ウォーカー イクター

事業・取組

- 地域包括ケアシステムの推進
- 地区カルテ等を活用した地域ごとの情報の集約と見える化
- 多摩区・3大学連携事業
- 生田地区コミュニティ推進事業

事業・取組の詳細は、P94に掲載しています

のぼりとミーティング



地域で活動する団体・関係機関の交流や情報共有を目的に、団体交流会「のぼりとミーティング」を開催しています。

町内会・自治会、民生委員児童委員、地域カフェ、障害福祉サービス事業所、クリニック、企業等様々な団体が参加し、活動紹介、意見交換等を行い、交流を深めています。

地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～

菅地区と地区内の活動団体の「困りごと・心配ごと」を把握し、地域の実情に応じた具体的な取組を検討するとともに、菅地区の支え合いの地域づくりの体制・しくみを形成することを目的に、「地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～」を開催しています。

地域の課題を改めて見つめ直し、地区内の資源を知るための現地ツアーを実施し、地域資源をかけたアイデア(地ケ算)を実現しています。



中野島多世代つながり愛プロジェクト



中野島多世代つながり愛プロジェクトキャラクター
なかよしなっしーず



きずな はぐみ つなぐ

「子どもの健やかな成長の喜びを全ての世代が共有できるまちづくり」を目標に、「中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会」を開催しています。

地域の子育て世代やシニア世代が挨拶などの交流を通して顔見知りになり、自分たちのできる範囲でちょっとした困りごとを助け合えるような地域をめざし活動しています。